

## 第 6 次焼津市総合計画の将来都市像について

(未来創造部政策企画課)

## 1 市民会議案の課題

平成 28 年 12 月 20 日、以下の将来都市像案の市民会議案が市長に提案された（詳細は、別紙「第 6 次焼津市総合計画における将来都市像案の提案書」参照）。

やさしいら 愛しいら ずっと住みたいら～世界に広がる豊かな水産・文化都市 YAIZU～

この市民会議案に込められた想いは、市長が目指すダイヤモンド構想と共通する「焼津の強みである多様な地域資源を磨き、活用・連携・循環することにより市を豊かにし、市民が安心して暮らせるまち」というものであったが、市民会議案には次の 2 つの課題があると考えられる。

## ① キャッチフレーズ部分と都市像部分のつながり

キャッチフレーズ部分と都市像部分について、誰を対象にしたものかという視点にたつと、キャッチフレーズ部分は内向き（市民向き。特に「ずっと住みたいら」が現在焼津に住んでいる人のみに向けられた言葉となっているように感じられる。）であるのに対し、都市像部分は市外、県外さらには世界を対象にした外向きなもので、かつ、大きく飛躍するような形となっている。そのため、キャッチフレーズ部分と都市像部分のつながりの調整をする必要がある。

## ② 将来都市像に方言を用いる事の適性

方言の使用は市民向きと考えられる。将来都市像が市民だけでなく、市外の人や外国人などにも向けたものであるという視点にたち、方言の使用について調整する必要がある。

## 2 事務局が提案する将来都市像案

このことから、キャッチフレーズ部分についてさらなる磨き上げが必要と考えられるため、事務局として次の 3 つの将来都市像案を提案する。提案する将来都市像案は、方言の使用をなくし、①、②は市民会議案の「基本となるもの」を大きく崩さないもの、③は「基本となるもの」のキャッチフレーズ部分を他の市民会議案から引用したものとなっている。

## ① やさしさ 愛しさ いいもの「いっぱい」

～世界に広がる豊かな水産・文化都市 YAIZU～

・「その他に考案されたもの」の中から、「いいもの「いっぱい」」というフレーズを引用し、誇れる地域資源がたくさんあるという意味を含めた。

## ② やさしいね 愛しいね ずっとこのまちが好き

～世界に広がる豊かな水産・文化都市 YAIZU～

・「その他に考案されたもの」の中から、市民会議で共感度の高かったフレーズ「ずっとこのまちが好き」を引用し、市民だけでなく、焼津に関係する人でも共感できるものとした。また、キャッチフレーズ部分の最初の言葉「や～ い～ ず～」が「やいづ」となっている。

## ③ いいひと いいもの いいところ「いっぱい」

～世界に広がる豊かな水産・文化都市 YAIZU～

・「良い地域資源がたくさんある焼津を世界に発信していく」という意味の都市像部分につなげるキャッチフレーズとするため、「その他に考案されたもの」の中から、人・もの・場所の良い地域資源がたくさんあるということを表したキャッチフレーズを選んだ。